



【三余のモチーフ】

天井や壁面の四隅には、「夜」「冬」「雨」「三」の文字。三余という読書に最適でとって落ち着く時間をこよなく愛する印です。

【読書と縁側】

天候や季節の変わり目、雨や雪が降ると、縁側で読書をする。静かな夜、窓辺に自分だけの場所を設け、読書を楽しむ。縁側を設けることで、読書と自然が調和し、心地よい空間が生まれる。

【コンセプト】

ようこそ、三余書庫へ。ここは小さいけれど、本が大好きな自分だけの図書空間です。

ところで、「読書に適した時間」というものがあるのでしょうか？ 実は、読書に適している時間は、「冬（年の余）」、「夜（日の余）」、「雨（時の余）」の三つであるという説があるのです。それを、「三余」といいます。確かに冬の寒い日や夜、雨の日には、屋根のある空間にいつもより一層安心を感じ、安心しますよね。

この三つのキーワードを頼りに、インテリア空間のどこどこにモチーフを入れています。また、これらの三つを最も風情に感じられる場所として、縁側を設けました。

本の魅力というものは、切りが無いほど尊がります。本を手にとると、その温かみになんだが安心したり、まだ読んでいない本が、心がわくわくしたり。本棚に並んで、内装や生活、人生が豊かになっていくのを感じます。そんな本の魅力を、最大限に味わえる空間にしました。

【ねっ転がりスペース】

床やベッドにねっ転がらなければ、読書はできません。ねっ転がりのスペースを設け、読書に最適な環境を整えています。

【平面図】



【テーマカラー】

テーマカラーは「緑」と「茶色」です。本のページは紙でできており、その紙の色は樹木から生まれます。本の母体は木で存在する樹木の色を、反対色である赤系の色を加え、バランスと華やかさを保っています。



三余書庫

▽GL±0